



株式会社島津製作所(東証プライム市場：証券コード7701)

2024年3月期 第3四半期決算説明会

取締役専務執行役員 CFO 渡邊明 | 2024年2月6日

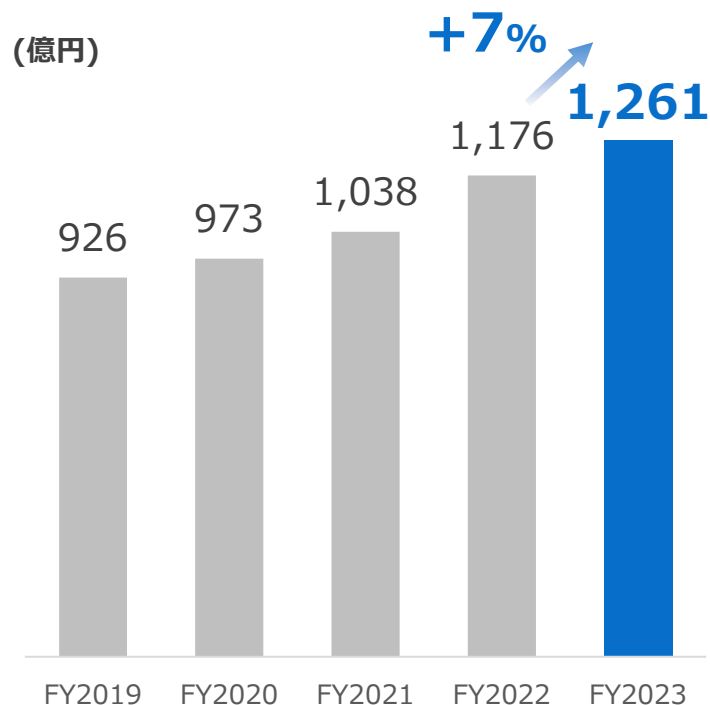
01 決算概要

第3四半期（10－12月）決算業績サマリー

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

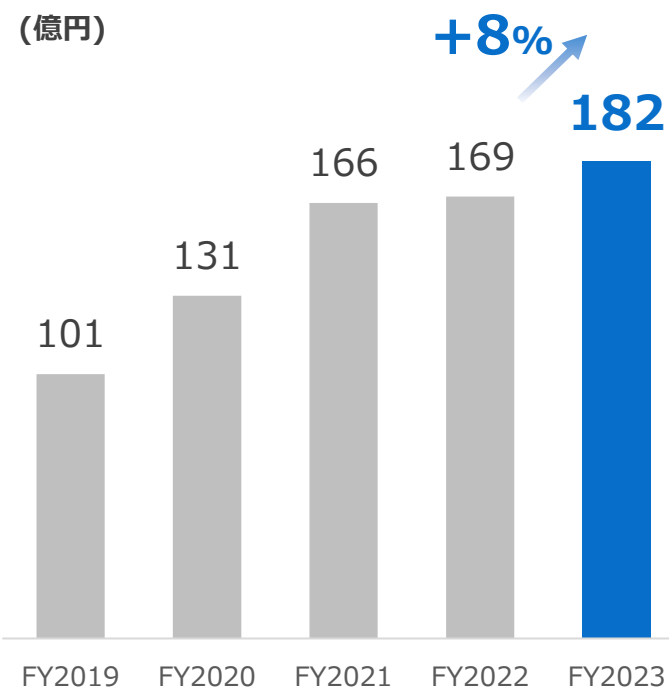
売上高

全セグメントで増加
4期連続過去最高更新



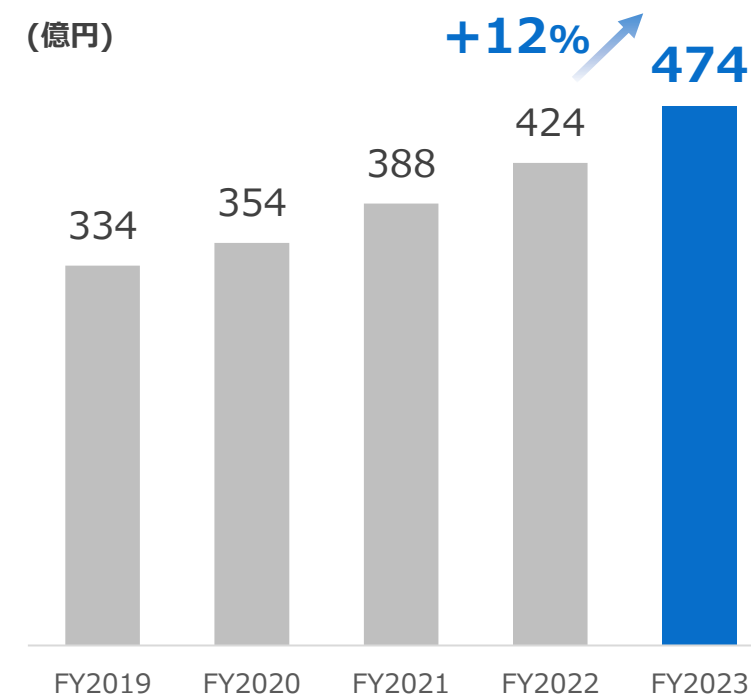
営業利益

23億円の成長投資を進めた中、
売上増や航空事業の利益改善などにより
4期連続過去最高更新



計測 重点機種

前年比+12%
FY2022 4Qから4四半期連続で2桁増



*重点機種3機種：LC(液体クロマトグラフ)、MS(質量分析システム)、GC(ガスクロマトグラフ)

損益計算書

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

売上高、営業利益で過去最高を更新

売上高
前年同期比：+85億円/+7%
1,261億円

営業利益
前年同期比：+14億円/+8%
182億円

営業利益率
前年同期比：+0.1pt
14.5%

当期純利益
前年同期比：+11億円/+9%
125億円

	単位：億円	第3四半期(10月-12月)		前年同期比	
		FY2022	FY2023	増減額	増減率
業績	売上高	1,176	1,261	+85	+7%
	営業利益	169	182	+14	+8%
	営業利益率	14.3%	14.5%	+0.1pt	
	経常利益	152	171	+19	+12%
	親会社株主に帰属する当期純利益	114	125	+11	+9%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	141.60	147.93	+6.33	+4%
	ユーロ(円)	144.33	159.17	+14.84	+10%
	研究開発費	49	52	+3	
	設備投資額	53	43	▲10	

減価償却費

47億円(前年44億円)

為替影響額

売上高：**40億円**
営業利益：**13億円**

* 記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、表記上の合計値、差額と合わない場合があります。

営業利益増減要因 (10-12月)

営業利益は14億円増加し182億円

【増収に伴う利益増】 計測・医用・航空の増収に伴う粗利増

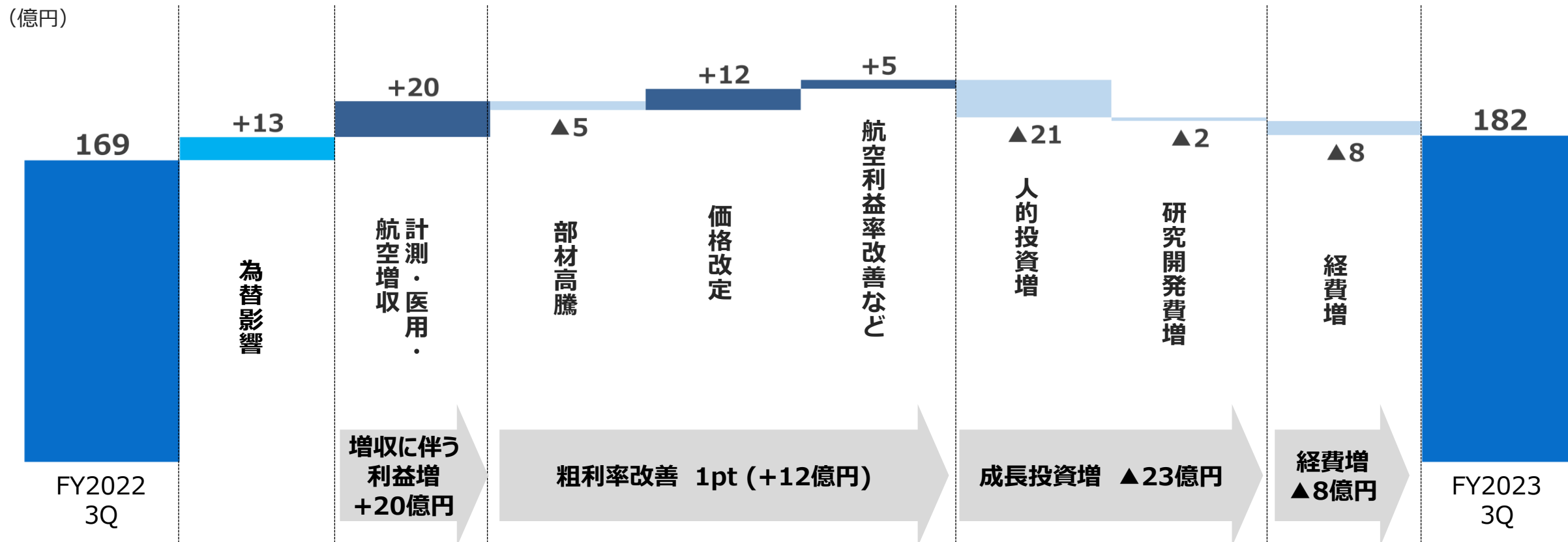
【粗利率改善】 価格改定の推進、航空利益率改善など

【成長投資増加】 人的投資、研究開発投資などの成長投資増

+20億円

+12億円

23億円 (利益押下げ)



セグメント別損益（10-12月）

成長投資などにより3セグメントで減益。航空は大幅増収増益

計測機器：増収減益

医用機器：増収減益

産業機器：増収・横ばい

航空機器：増収増益

売上高

・重点機種がヘルスケア・グリーン領域で増加

営業利益

・高利益率のPCR試薬減少、成長投資増により減益

売上高

・注力している血管撮影システムがグローバルで牽引

営業利益

・成長投資増により減益

売上高

・EV用セラミック製造向けで工業炉増加
営業利益

営業利益

・工業炉とTMPは増益となる一方、材料費高で油圧などが減益

売上高

・防衛・民間航空ともに増加
営業利益

営業利益

・増収効果に加え、採算性が改善し
営業利益率が大幅に向上

単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2022 3Q	FY2023 3Q	前年同期比		FY2022 3Q	FY2023 3Q	前年同期比		FY2022 3Q	FY2023 3Q	前年同期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	787	836	+48	+6%	143	141	▲1	▲1%	18.2%	16.9%	▲1.2pt
医用機器	158	173	+15	+9%	9	8	▲1	▲15%	5.6%	4.4%	▲1.3pt
産業機器	159	161	+2	+1%	18	18	▲0	▲2%	11.6%	11.2%	▲0.4pt
航空機器	58	77	+20	+34%	4	15	+12	+333%	6.2%	19.9%	+13.7pt
その他	14	14	+0	+1%	2	3	+1	+54%	8.5%	12.9%	+4.4pt
調整額	-	-	-	-	▲7	▲3	+4	-	-	-	-
合計	1,176	1,261	+85	+7%	169	182	+14	+8%	14.3%	14.5%	+0.1pt

02 セグメント別業績

計測機器/機種別売上高・リカーリング比率

【重点機種】 ヘルスケア領域、グリーン領域及びアカデミアで増加

【その他機種】 グリーン領域で非破壊検査装置増加。一方、コロナ関連が大幅に減少

【リカーリング】 サービスは増加した一方、PCR試薬減少

重点機種売上高

前年同期比 +50億円/ +12%

474億円

- ・ LC：ヘルスケア領域(医薬向けなど)で増加
- ・ MS：アカデミア向けで増加
- ・ GC：グリーン領域で増加

その他機種売上高

前年同期比 ▲2億円/ ▲1%

362億円

- ・ 非破壊検査装置：EVバッテリー検査向けで増加
- ・ コロナ関連：PCR試薬・AutoAmpが大幅減

リカーリング比率

前年同期比 ▲3pt (売上高▲2億円)

37%

- ・ メンテナンス・サービスは増加
- ・ PCR試薬が大幅減

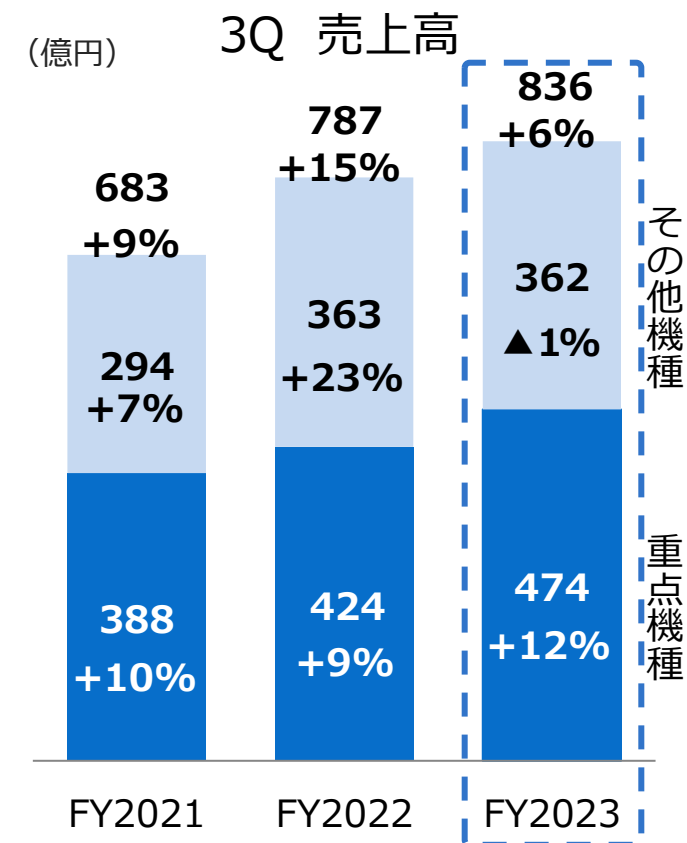
重点機種



その他機種



*FY2023に販売された製品を新製品として表示



%表記は前年同期比増減率

計測機器/地域別売上高

【日本】ヘルスケア領域、グリーン領域で重点機種が増加

【海外】北米：大手顧客向けLC、臨床向けMALDIが減少

中国：新エネルギー向けにGC、臨床向けなどにMS増加

欧州：アカデミア、臨床向けにMSが増加

その他アジア：インド、東南アジアで医薬向けにLC増加

単位 億円		FY2022	FY2023	前年同期比		3Q概況
				増減額	増減率	
日本	1Q	209	221	+11	+5%	・医薬向けにLC、新エネルギー開発向けにGC、EV向けに非破壊検査装置が増加 ・コロナ関連が減少（1Q▲16億円 2Q▲35億円 3Q▲16億円） ・上期までは島津ダイアグノスティクス（旧日水製薬）の新規連結効果あり * 2022年9月に連結
	2Q	291	321	+30	+10%	
	3Q	283	275	▲8	▲3%	
海外	1Q	408	493	+84	+21%	・海外売上高比率は67%と前年同期比3pt増加
	2Q	506	552	+47	+9%	
	3Q	505	561	+56	+11%	
北米	1Q	71	72	+1	+1%	・大手顧客向けLC、臨床向けMS（MALDI）が減少 ・医薬向けLC、PFAS向けMSは堅調
	2Q	87	91	+3	+4%	
	3Q	80	77	▲3	▲4%	
欧州	1Q	71	85	+14	+20%	・アカデミア、臨床向けにMSが増加 ・医薬向けにLCが増加
	2Q	74	94	+20	+27%	
	3Q	91	111	+19	+21%	
中国	1Q	145	191	+46	+31%	・前年のコロナ影響の反動（2022年10-11月 ロックダウン 12月 感染拡大による据付遅延） ・新エネルギー開発向けにGCが増加、アカデミア、臨床向けにMSが増加 ・医薬、受託分析向けLCが減少
	2Q	215	206	▲9	▲4%	
	3Q	186	198	+12	+6%	
その他の アジア	1Q	89	102	+13	+15%	・インド（+32%）：医薬向けLCが増加 ・東南アジア（+18%）：医薬向けLCが増加
	2Q	97	116	+19	+20%	
	3Q	110	132	+22	+20%	

医用機器/機種別売上高・リカーリング比率

【X線装置】 血管撮影システム:新製品が貢献し大幅に増加
撮影装置 :当社独自の機能が評価され増加

X線装置売上高
前年同期比 +15億円/+14%
128億円

- 血管撮影システム : AIによる画像処理技術を搭載した新製品が増加
- X線TVシステム : 業界最小クラスの新製品(F4)増
- 撮影装置 : 当社独自のパワーアシスト機能が評価され増加

その他機種売上高
前年同期比 ▲0億円/ ▲1%
45億円

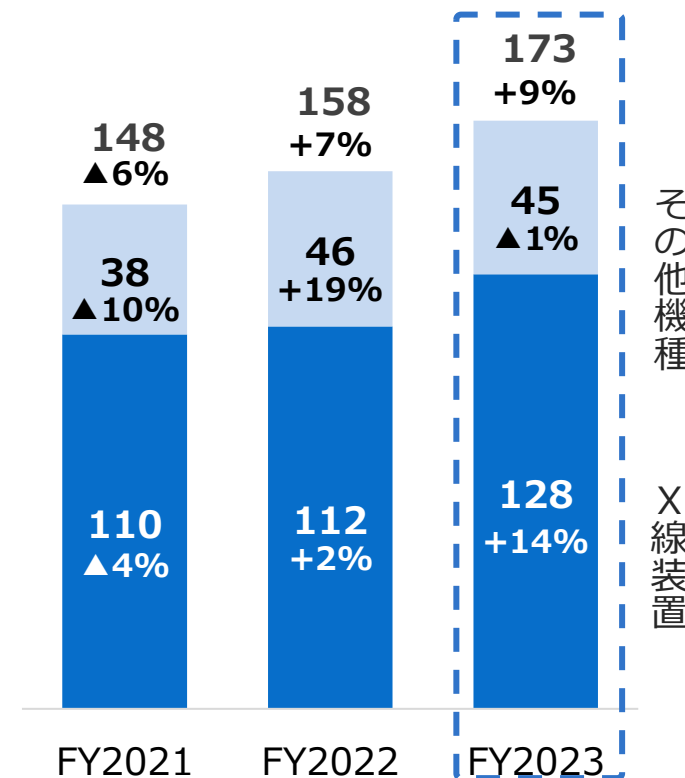
リカーリング比率
前年同期比▲2pt (売上高+3億円)
37%

- メンテナンス・サービスは増加
- 装置の売上が増加したことにより比率は低下



(億円)

3Q 売上高



産業機器 / 機種別売上高・TMPリカーリング比率

【TMP】 半導体製造装置向けは減少し、グリーン関連向け（薄膜太陽電池製造装置など）が増加

【油圧】 国内：農機、特装車両向け減少 中国：小型建機向け減少

【その他】 EV用セラミック製造向け工業炉が増加

TMP売上高
前年同期比▲0億円 / ▲0%
78億円

- ・ SPE*向けはQoQでは10%増

TMPリカーリング比率
前年同期比+2pt（売上高+2億円）
18%

- ・ 中国・台湾で顧客カバー率向上により増加

油圧機器売上高
前年同期比 ▲2億円 / ▲4%
38億円

その他機種売上高
前年同期比 +4億円 / +10%
45億円

ターボ分子ポンプ(TMP)



電源一体型



電源別置き型

油圧機器



ギヤポンプ



コントロールバルブ

その他



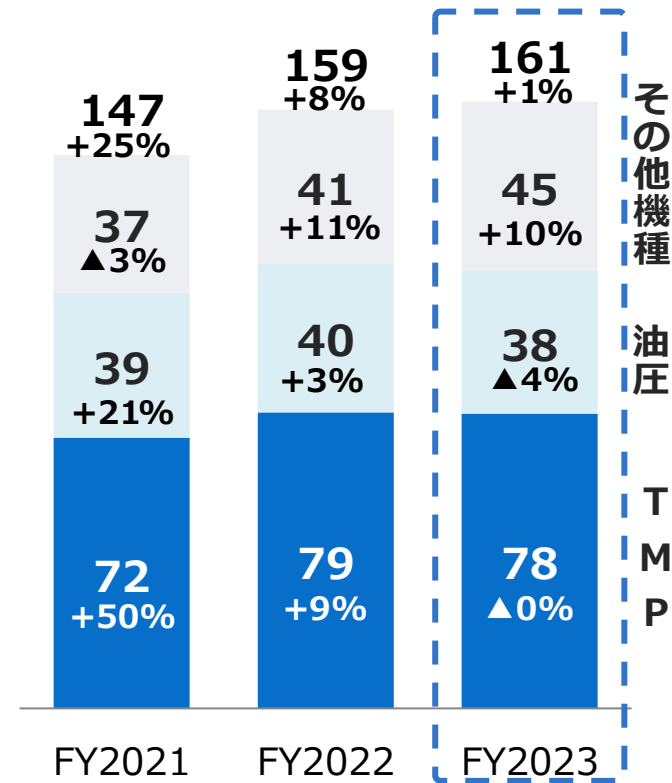
工業炉



ガラスワインダ

(億円)

3Q 売上高



%表記は前年同期比増減率

航空機器/分野別売上高

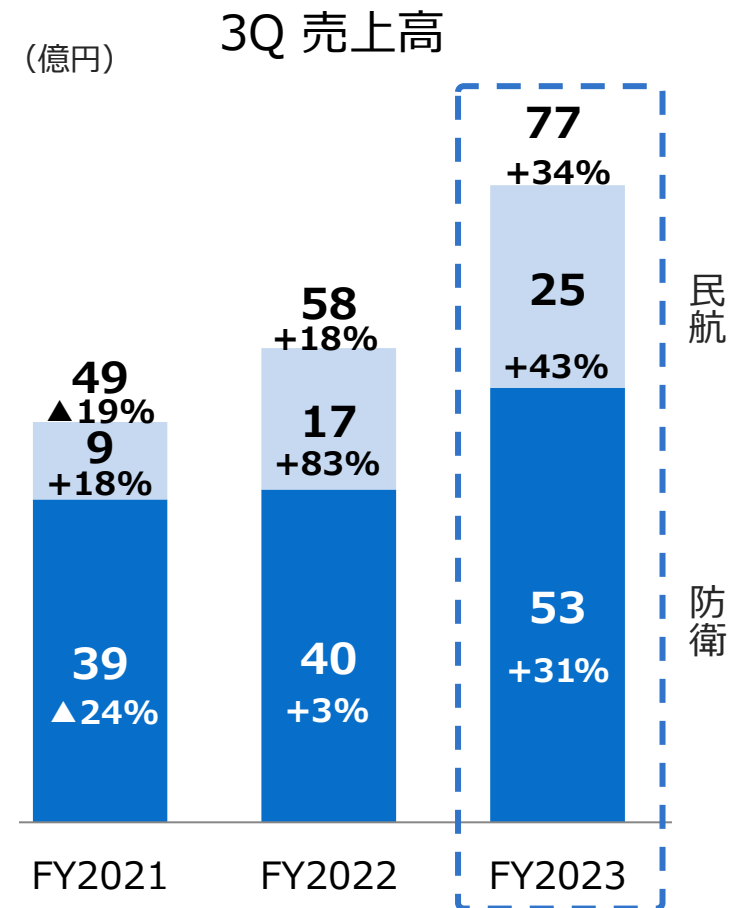
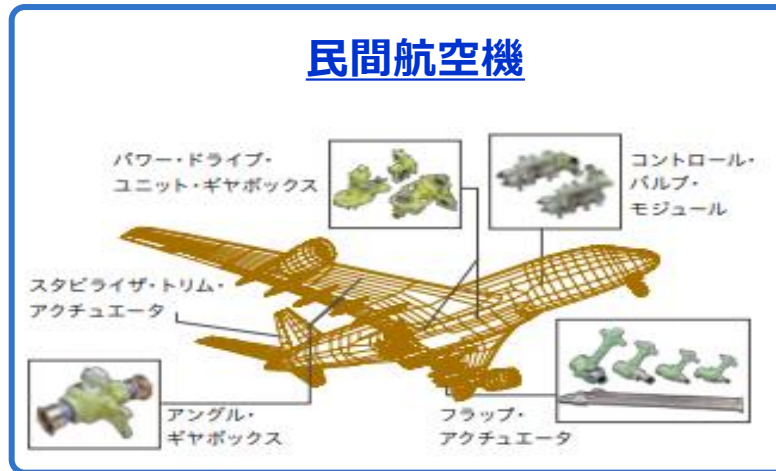
【防衛】 航空機用搭載品の需要拡大により増加

【民航】 航空旅客需要の回復による航空機増産や補用品の売上増、価格改定により増加

防衛分野売上高
前年同期比 +12億円/ +31%
53億円

- 航空機搭載用品の需要が拡大する中、売上平準化の取組を強化

民間航空機分野売上高
前年同期比 +7億円/ +43%
25億円



%表記は前年同期比増減率

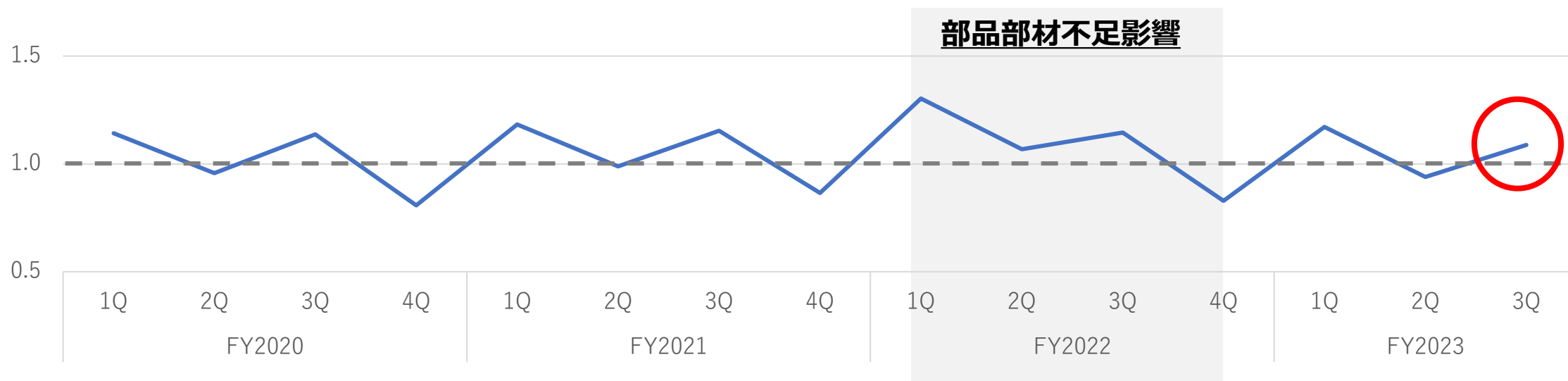
03 2023年度通期業績予想

- ・中国の事業環境の厳しさが増す
- ・好調が継続しているインド・東南アジアや北米の回復などで3QのBBレシオは1.1と前年同期とほぼ同じ

3Q受注 前年同期比

連結	日本	北米	欧州	中国	その他のアジア	内インド
+1~3%	+1~3%	+14~16%	+7~9%	▲20~23%	+14~16%	+27~29%

計測 BBレシオ推移



- ・医薬・CRO向けは、回復にしばらく時間を要する見込み
- ・臨床、グリーン、アカデミアなど、需要が拡大している分野に注力

市場環境

施策

ライフサイエンス分野

ヘルスケア領域

メドテック分野

- ・医薬・CRO : 設備投資停滞が継続
- ・漢方薬 : 国策として漢方薬研究が進む
- ・薬典 : 2025年に薬典改訂

- ・病院 : 県級の総合病院向けの質量分析計の導入に向けた「総合病院機器構成標準」が発令。MS需要拡大

- ・漢方薬上位企業100社向け提案強化
- ・薬典改訂に向けたソリューションの早期提案
- ・バイオ・核酸医薬向けアプリケーションの開発促進

- ・中国の試薬メーカーと提携し当社LCMSをOEM供給。当社LCMSによる検査を標準化しプラットフォーム化を目指す

GX(グリーン)
領域

- ・リチウムイオン電池 : 研究開発強化、品質向上で需要増
- ・水素エネルギー : 各地で水素ステーション建設に伴う装置需要増
- ・太陽光・風力発電 : 第14次5か年計画で、再生可能エネルギーの比率を第13次比で50%増に

- ・豊富な製品ラインアップにより、研究開発から品質管理まで各プロセスのニーズに対応

アカデミア

- ・地方職業訓練学校 : 「職業教育産学融合強化行動実施計画(2023-2025)」に基づいた支援拡大

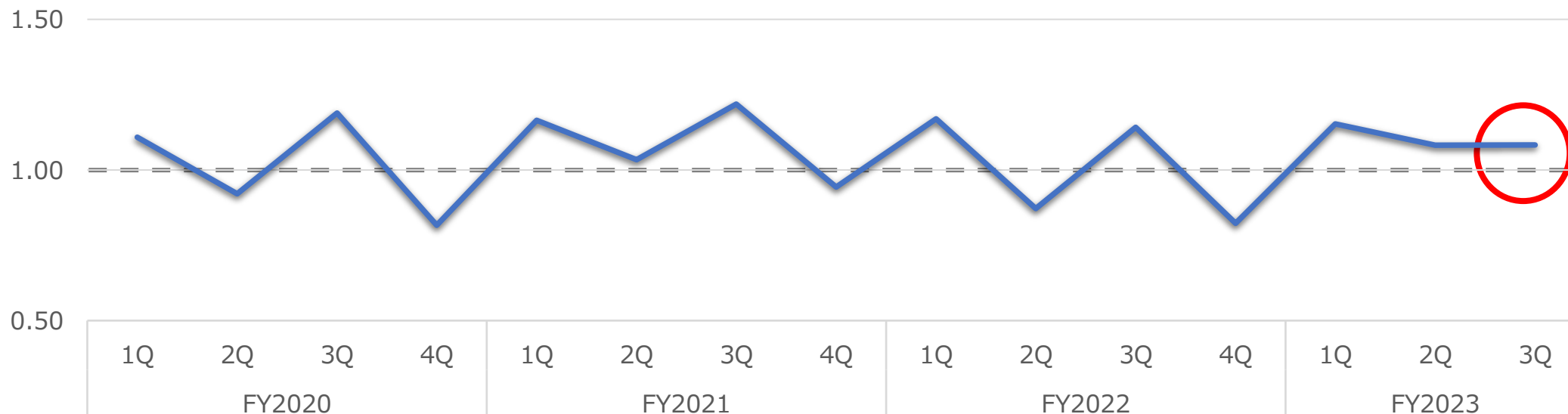
- ・中国生産品を活用して、豊富な製品ラインアップで様々な研究のニーズに対応

- ・血管撮影システムが好調に推移。増産（前年同期比1.5倍）を行い、業績拡大を図る
- ・受注も中国を除き堅調

3Q受注 前年同期比

連結	日本	北米	欧州	中国	その他のアジア
+1~3%	+1~3%	+4~6%	+20~23%	▲30~33%	+30~33%

医用 BBLレシオ推移

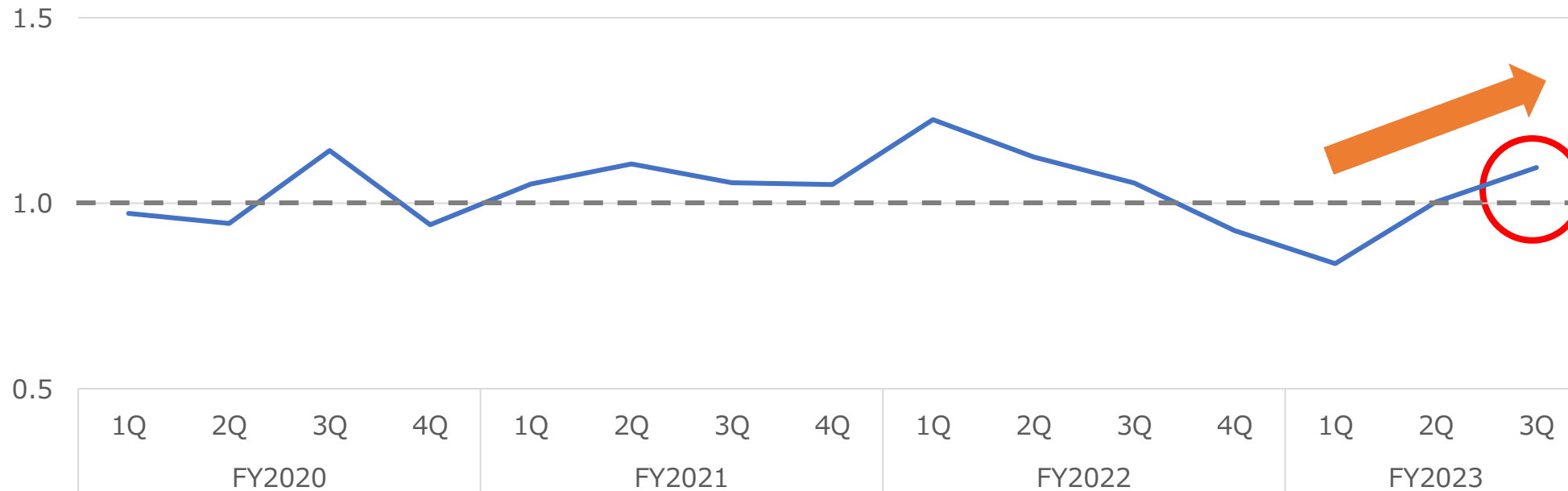


TMPのBBレシオが1を上回り、SPE向けが今後回復する見通し

3Q受注 前年同期比

連結	日本	北米	欧州	中国	その他のアジア
+1~3%	▲34~36%	+24~26%	+4~6%	+44~46%	+34~36%

TMP BBレシオ推移



2023年度通期業績予想

4期連続で売上高・利益で過去最高更新を目指す

売上高

前期比：+278億円/ +6%

5,100億円

営業利益

前期比：+48億円/ +7%

730億円

営業利益率

前期比：+0.2pt

14.3%

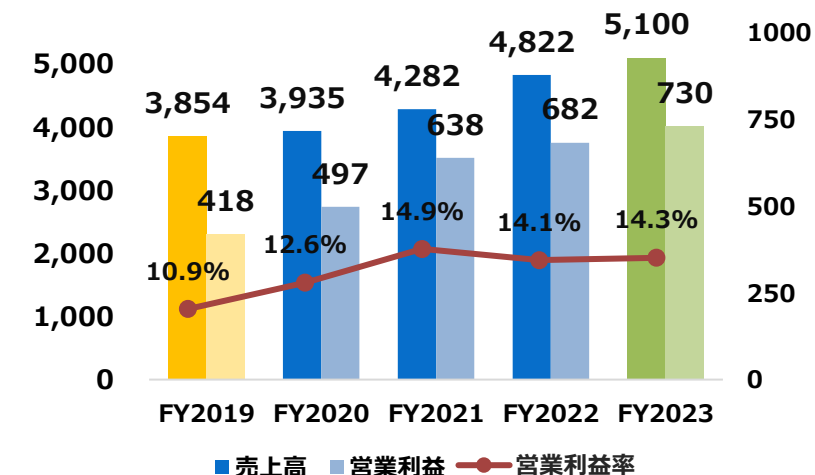
当期純利益

前年同期比：+30億円/+6%

550億円

	単位：億円	通期		前期比	
		FY2022	FY2023 予想	増減額	増減率
業績	売上高	4,822	5,100	+278	+6%
	営業利益	682	730	+48	+7%
	営業利益率	14.1%	14.3%	+0.2pt	
	経常利益	709	740	+31	+4%
	親会社株主に帰属する当期純利益	520	550	+30	+6%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	135.51	143.00	+7.49	+6%
	ユーロ(円)	141.02	155.00	+13.98	+10%
	研究開発費	190	220	+30	
	設備投資額	225	250	+25	

売上高・営業利益推移(5年間) (億円)



減価償却費

180億円

為替感応度

米ドル
売上高：15億円
営業利益：5億円

ユーロ
売上高：3億円
営業利益：1億円

為替レートを1ドル143円（前回138円）1ユーロ155円（前回149円）に変更

2023年度通期セグメント別業績予想

計測、産業、航空で増収増益。主力の計測は4期連続で増収増益を計画

**計測機器：増収増益
過去最高**

医用機器：減収減益

**産業機器：増収増益
過去最高**

航空機器：増収増益

- 重点機種が増加することやグリーン向けに試験機や非破壊検査機が増加し増収
- 成長投資を行うが、増収に伴う粗利増、価格改定の推進などにより増益

- 前年の大口案件や補正予算案件の反動で減収
- 減収による粗利減少などにより減益

- セラミック用途向け工業炉とグリーン向けTMPなどが増加し増収
- 増収による粗利増、価格改定の推進などにより増益

- 防衛、民間航空ともに増収
- 増収に加え、価格改定などにより増益

単位: 億円	売上高					営業利益					営業利益率			
	FY2022	FY2023 前回予想	FY2023 新予想	前期比		FY2022	FY2023 前回予想	FY2023 新予想	前期比		FY2022	FY2023 前回予想	FY2023 新予想	前期比 増減
				増減額	増減率				増減額	増減率				
計測機器	3,147	3,400	3,380	+233	+7%	576	622	600	+24	+4%	18.3%	18.3%	17.8%	▲0.6pt
医用機器	759	740	730	▲29	▲4%	55	54	50	▲5	▲10%	7.3%	7.3%	6.8%	▲0.4pt
産業機器	630	630	640	+10	+2%	54	60	65	+11	+20%	8.6%	9.5%	10.2%	+1.5pt
航空機器	240	280	290	+50	+21%	14	22	26	+12	+87%	5.8%	7.9%	9.0%	+3.2pt
その他	47	50	60	+13	+27%	6	2	7	+1	+17%	8.4%	2.7%	8.2%	▲0.2pt
調整額	-	-	-	-	-	▲23	▲30	▲18	-	-	-	-	-	-
合計	4,822	5,100	5,100	+278	+6%	682	730	730	+48	+7%	14.1%	14.3%	14.3%	+0.2pt



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所

コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

電話：075-823-1673

E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

損益計算書 (4-12月)

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

売上高

前年同期比：+262億円/+8%

3,656億円

営業利益

前年同期比：+50億円/+11%

507億円

営業利益率

前年同期比：+0.4pt

13.9%

当期純利益

前年同期比：+31億円/+9%

391億円

	単位：億円	第3四半期累計(4月-12月)		前年同期比	
		FY2022	FY2023	増減額	増減率
業績	売上高	3,395	3,656	+262	+8%
	営業利益	458	507	+50	+11%
	営業利益率	13.5%	13.9%	+0.4pt	-
	経常利益	483	529	+46	+10%
	親会社株主に帰属する当期純利益	359	391	+31	+9%
為替	平均為替レート：米ドル (円)	136.54	143.33	+6.79	+5%
	ユーロ (円)	140.63	155.34	+14.71	+10%
	研究開発費	136	154	+18	
	設備投資額	174	164	▲ 10	

減価償却費

139億円

為替影響額

売上高：116億円
営業利益：39億円

セグメント別損益（4-12月）

計測機器：増収増益
過去最高

医用機器：減収減益

産業機器：増収増益
過去最高

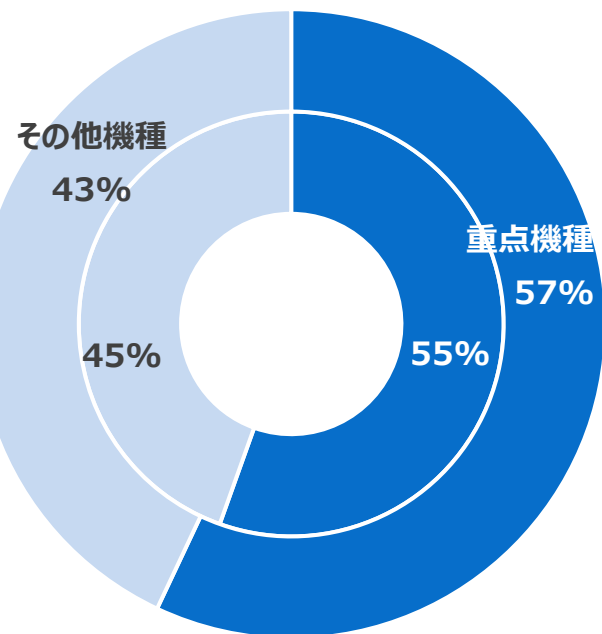
航空機器：増収増益

単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2022	FY2023	前年同期比		FY2022	FY2023	前年同期比		FY2022	FY2023	前年同期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	2,202	2,423	+221	+10%	381	408	+26	+7%	17.3%	16.8%	▲0.5pt
医用機器	534	507	▲28	▲5%	38	24	▲14	▲37%	7.0%	4.7%	▲2.3pt
産業機器	463	469	+7	+1%	44	51	+6	+14%	9.6%	10.8%	+1.2pt
航空機器	163	209	+47	+29%	7	29	+22	+328%	4.2%	13.8%	+9.7pt
その他	33	48	+15	+45%	5	7	+2	+47%	9.0%	10.0%	+1.0pt
調整額	-	-	-	-	▲17	▲10	+7	-	-	-	-
合計	3,395	3,656	+262	+8%	458	507	+50	+11%	13.5%	13.9%	+0.4pt

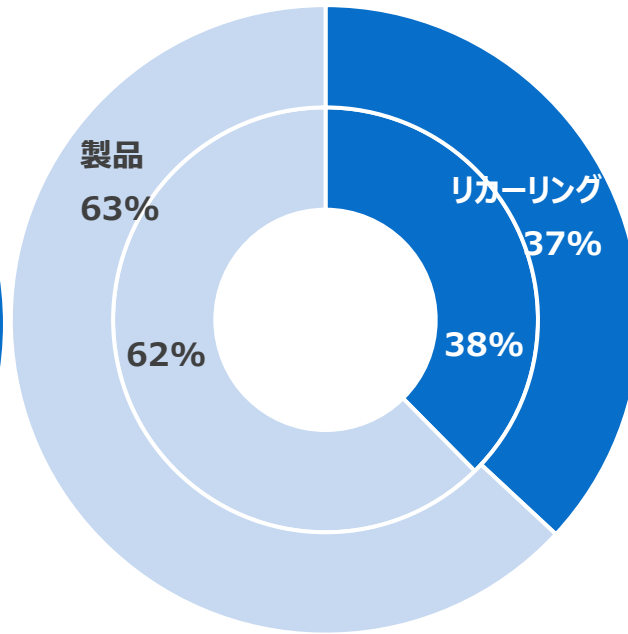
計測機器/各種売上高構成比率 (4-12月)

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

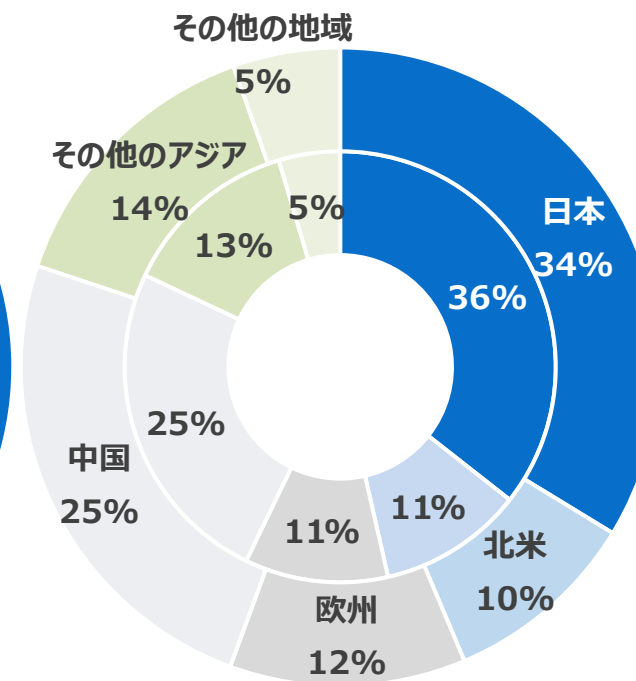
機種別



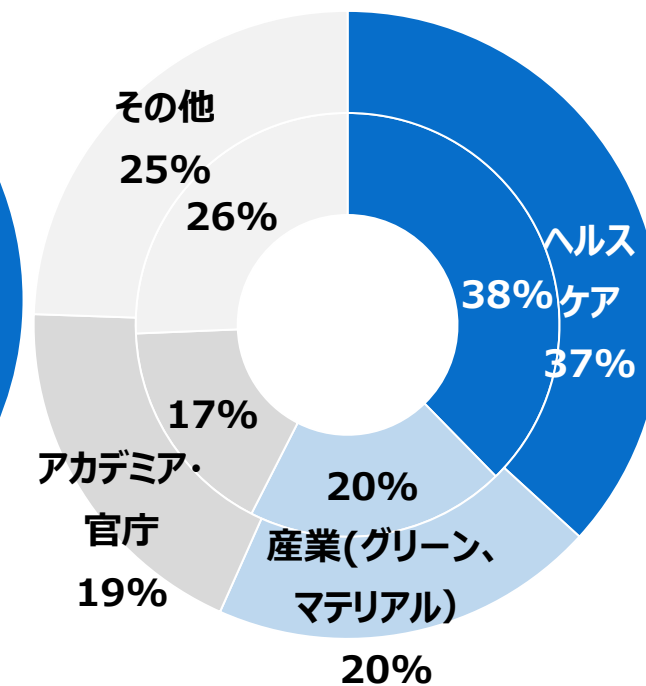
機器/リカーリング



地域別



市場別



※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

計測機器/重点機種売上高前年同期比

・重点機種

LC : 日本、欧州、その他アジアで医薬向けに増加

MS : 欧州、中国で臨床及びアカデミア向けに増加

GC : グローバルで新エネルギー向けなどに増加

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
重点機種	+24%	+10%	+10%	+3%	+11%	+2%	+14%	+9%	+25%	+13%	+18%	+13%	+12%
全体	+29%	+12%	+9%	+4%	+12%	+1%	+15%	+15%	+20%	+13%	+16%	+10%	+6%
為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
重点機種	+20%	+7%	+4%	▲3%	+6%	▲9%	▲2%	▲5%	+14%	▲0%	+12%	+8%	+7%
全体	+25%	+9%	+4%	▲0%	+8%	▲8%	+3%	+3%	+13%	+3%	+11%	+6%	+2%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器/地域別売上高前年同期比

- ・日本：医薬向けにLC、EVバッテリー検査用途で非破壊検査装置増。コロナ関連が大幅に減少
- ・海外：欧州、その他アジアは重点機種を中心に増加。北米は大手顧客向け減少

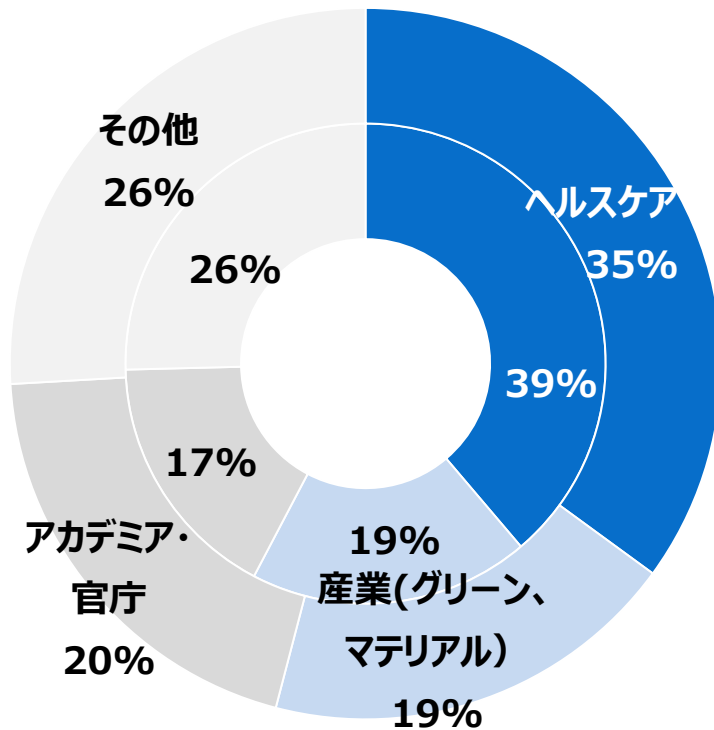
為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%	▲3%
北米	+35%	+12%	+2%	+9%	+13%	▲2%	+12%	+20%	+22%	+13%	+1%	+4%	▲4%
欧州	+28%	+17%	+9%	▲2%	+11%	+13%	▲1%	+18%	+28%	+14%	+20%	+27%	+21%
中国	+24%	+9%	+9%	▲2%	+10%	▲14%	+36%	+6%	+49%	+17%	+31%	▲4%	+6%
その他のアジア	+27%	+10%	+18%	+14%	+17%	+37%	+25%	+24%	+18%	+25%	+15%	+20%	+20%
インド	+4%	+3%	+4%	+12%	+6%	+50%	+22%	+26%	+8%	+23%	+27%	+14%	+32%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%	▲3%
北米	+31%	+7%	▲7%	+0%	+7%	▲16%	▲9%	▲3%	+6%	▲5%	▲4%	▲1%	▲8%
欧州	+15%	+11%	+4%	▲4%	+5%	+8%	▲8%	+7%	+19%	+6%	+11%	+13%	+10%
中国	+22%	+5%	▲0%	▲12%	+4%	▲28%	+9%	▲14%	+31%	▲3%	+24%	▲9%	+2%
その他のアジア	+22%	+6%	+10%	+6%	+10%	+20%	+4%	+4%	+6%	+8%	+10%	+15%	+15%
インド	+2%	▲0%	▲3%	+3%	+0%	+27%	▲2%	+2%	▲6%	+2%	+20%	+9%	+26%

※インドはその他のアジアの内数

計測機器/市場別売上高比率 (10-12月)

市場別売上高構成比

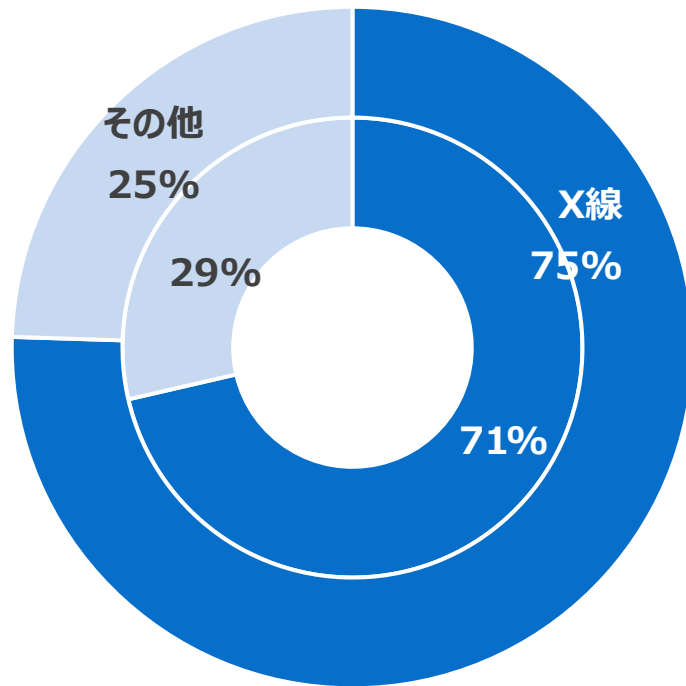


市場と主な業界	構成比		売上高 前年同期比	概況
	FY2022	FY2023		
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	39%	35%	▲4%	・中国で医薬、CRO向けが大幅に減少 ・日本でPCR関連減少 ・日本、北米、欧州、その他アジアで医薬向け増加 ・欧州で臨床向け増加
産業関連 (グリーン、マテリアル) ●化学・素材 ●電機 ●自動車	19%	19%	+6%	・グリーン向け (EV, 新エネルギー関連) にGC、 非破壊検査装置が増加
大学・官公庁	17%	20%	+23%	・欧州でアカデミア向けにMS、GCが増加

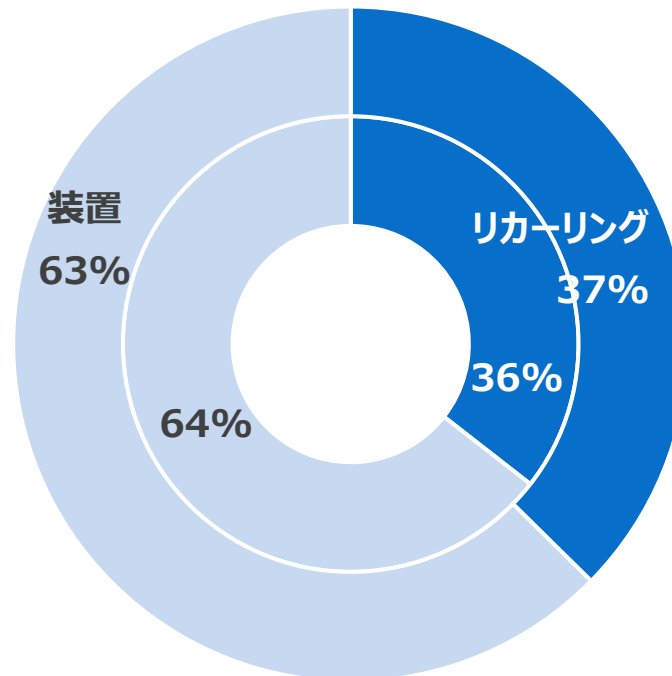
※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

医用機器/各種売上高構成比率（4-12月）

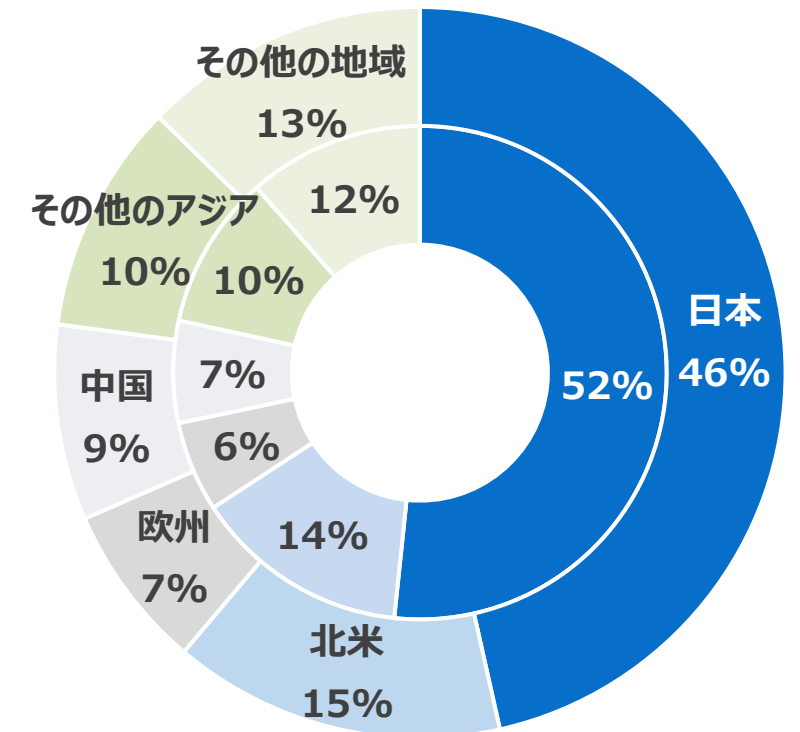
機種別



機器/リカーリング



地域別



※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

医用機器/地域別売上高

単位 億円		FY2022	FY2023	前年同期比		3Q概況
				増減額	増減率	
日本	1Q	94	71	▲23	▲24%	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品の血管撮影システムが増加 ・業界最小クラスのX線TVが増加 ・当社独自のパワーアシスト機能が評価され一般撮影が増加
	2Q	111	88	▲23	▲20%	
	3Q	71	77	+5	+7%	
海外	1Q	70	73	+2	+3%	<ul style="list-style-type: none"> ・海外売上高比率は56%と1pt増加
	2Q	101	102	+1	+1%	
	3Q	86	96	+10	+11%	
北米	1Q	21	17	▲4	▲18%	<ul style="list-style-type: none"> ・血管撮影システムが増加 ・X線TVは注力している近接型は堅調だが、遠隔操作型が減少
	2Q	30	33	+3	+11%	
	3Q	25	24	▲0	▲2%	
欧州	1Q	8	9	+1	+16%	<ul style="list-style-type: none"> ・東欧で血管撮影システムが増加
	2Q	12	11	▲1	▲7%	
	3Q	12	17	+5	+41%	
中国	1Q	11	14	+3	+24%	<ul style="list-style-type: none"> ・血管撮影システムが増加
	2Q	12	17	+5	+38%	
	3Q	12	13	+1	+7%	
その他の アジア	1Q	13	16	+3	+20%	<ul style="list-style-type: none"> ・インド、東南アジアで血管撮影システムが増加
	2Q	23	17	▲7	▲28%	
	3Q	18	19	+2	+10%	

医用機器/地域別売上高前年同期比

- ・国内：X線3機種ともに増加
- ・海外：血管撮影システムを中心に増加

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%	+7%
北米	+3%	▲16%	+11%	+14%	+2%	+4%	+52%	+21%	+28%	+26%	▲18%	+11%	▲2%
欧州	▲13%	▲39%	▲33%	▲12%	▲27%	+5%	+61%	+2%	+33%	+22%	+16%	▲7%	+41%
中国	▲25%	+3%	▲11%	▲10%	▲11%	+12%	▲12%	+5%	+23%	+6%	+24%	+38%	+7%
その他のアジア	+16%	+7%	+26%	▲22%	+4%	+10%	+16%	+7%	+19%	+13%	+20%	▲28%	+10%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
日本	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%	+7%
北米	+2%	▲19%	+2%	+5%	▲3%	▲12%	+22%	▲3%	+11%	+5%	▲23%	+6%	▲6%
欧州	▲21%	▲42%	▲36%	▲14%	▲31%	+0%	+50%	▲8%	+22%	+13%	+7%	▲18%	+28%
中国	▲27%	▲1%	▲18%	▲18%	▲16%	▲6%	▲30%	▲16%	+7%	▲12%	+17%	+32%	+3%
その他のアジア	+15%	+5%	+18%	▲28%	▲0%	▲2%	▲4%	▲11%	+7%	▲3%	+14%	▲31%	+6%

産業機器/機種別売上高前年同期比

- TMP** : SPE向け減少、グリーン関連向け（太陽電池薄膜用途など）が増加
油圧 : 国内で農機・特装車両向け、中国で小型建機向けが減少
その他機種 : EV用セラミック製造向け工業炉が増加

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
TMP	+16%	+38%	+50%	+27%	+32%	+20%	+22%	+9%	+1%	+12%	▲3%	+0%	▲0%
油圧	+37%	+37%	+21%	+5%	+24%	▲1%	+1%	+3%	+10%	+3%	+10%	+8%	▲4%
その他	+33%	+32%	▲3%	+18%	+17%	+17%	+12%	+11%	+24%	+16%	▲2%	+2%	+10%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
TMP	+13%	+35%	+44%	+22%	+28%	+11%	+11%	▲1%	▲6%	+3%	▲7%	▲4%	▲4%
油圧	+34%	+34%	+18%	+3%	+21%	▲6%	▲4%	▲2%	+7%	▲1%	+9%	+7%	▲6%
その他	+32%	+30%	▲6%	+14%	+15%	+7%	+1%	+2%	+17%	+7%	▲4%	+1%	+8%

リカーリング比率

計測 : メンテナンス・サービスは増加したものの、コロナ試薬減少や装置販売増により減少

医用 : メンテナンス・サービスが増加

TMP : 中国・台湾で顧客カバー率向上により増加

計測	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
リカーリング売上高 前年同期比	+33%	+16%	+4%	+6%	+13%	▲6%	+5%	+21%	+11%	+10%	+10%	+3%	▲4%
リカーリング比率	38%	35%	35%	35%	36%	39%	36%	40%	33%	37%	39%	35%	37%

医用	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
リカーリング売上高 前年同期比	+14%	+9%	+2%	+1%	+6%	▲2%	+3%	+0%	+3%	+3%	▲3%	▲7%	+1%
リカーリング比率	38%	35%	39%	32%	36%	36%	32%	39%	30%	34%	42%	34%	37%

TMP	FY2021					FY2022					FY2023		
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q
リカーリング売上高 前年同期比	+18%	+11%	+15%	+5%	+12%	▲1%	▲6%	+4%	▲17%	▲4%	▲9%	▲8%	+10%
リカーリング比率	17%	17%	15%	15%	16%	15%	14%	16%	13%	15%	15%	14%	18%

※為替影響を除外